

ヤブシタ 設置基準の作成進む

サンシェード 北大との共同研究で

防雪フード、防音フード等の製造・設計を手掛けるヤブシタは、ビル用マルチエアコン室外機において、排気側から出た空気が吸気側へ循環してしまうシ

ョートサーキットを防止する「サンシェード」を展開している。

同製品は、耐候性に優れるポリエチレン製メッシュシート付金具を室外機の間に取り付けるもの。これにより

ショートサーキットを防ぐほか、①電気料金を5〜13割削減し、②排気・日光をシャットアウトし吸込空気温度の上昇を抑制すること

で3〜5度Cの冷却効果を得られる。

同製品は、室外機上部を塞いでしまうため、室外機台数が多い場合や室外機間距離が短い場合、側面からだけでは吸込空気量が不足してしまうことがある。その際には室外機に架台を設置すること

で、室外機下部からの吸込量を確保し、空調機の能力を担保してき

ただ、汎用性を高めるため、室外機台数や室外機間距離に合わせた架台高さの基準作成が課題となっていた。

そこで同社は北海道大学と共同実験を実施。室外機実機やミニチュアモデルで気流解析を行う中で、室外機台数、室外機間距離、架台高さの相関関係が分かってきた。現在、ここで得られたデータを元に設置基準の作成に取り組んでおり、近

日中に発表できる見込みだ。同社は先ごろ「2017三菱電機暮らしと設備の総合展」の東京会場にて、この共同実験の内容について講演。反響は上

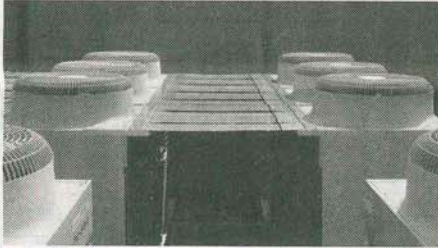
々だったという。なお同展では同製品のショートサーキット防止効果を360度可視化したVR体験コーナーも

出展。同社は今後、VRを、ショートサーキットの問題を認知してもらおうツールとして活用していく。

このほか独自製品として存在感を示す、ビル用マルチエアコン等の室外機向けの「デザインウォール」も順調にスペックインが進んでいるという。同製品はデザインを施したパネル(防音機能付き)を室外機背面に貼り付けるもので、広告塔や外壁に合わせたカラーラッシュにも活用できる。また同社は室外機

数台を覆う遮音パネルも展開しており、これも要望に合わせたデザインを施すことができ

る。



同社の強みは、気流解析、騒音解析の技術を有していること。解析を元に現場ごと最適な設置方法を提案することで、設計者の不安を取り除いている。

サンシェードを設置した室外機